

# 予算特別委員会 審査概要

平成24年度各会計予算は2月22日の本会議招集日に上程され、議会は8人の委員をもって構成する予算特別委員会(委員長・須田繁美)を設置しこれに付託し、3月12・13・14日の3日間慎重に審査を行いました。審査の結果、一般会計予算については、4人の委員から修正案が提出され、賛成多数で修正議決されました。また、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・駐車場事業の各特別会計予算はいずれも原案のとおり可決されました。

一般会計予算は、総額245億7800万円で、前年度比6億5800万円減(2.6%減)となりました。主な質疑は以下のとおりです。

- ### 予算特別委員会委員 (8人)
- 委員長 須田 繁 美
  - 副委員長 鈴木 えつお
  - 委員 浅野 和 男
  - 委員 吉野 芳 子
  - 委員 太田 久美子
  - 委員 岡村 しん
  - 委員 小川 克 美
  - 委員 石川 和 広

### 一般会計の審査から

#### 【総括質疑】

- ・公債費、起債制限比率、将来負担比率の改善策について。
- ・中学校給食センターは二重投資ではないか。
- ・障がい児保育は公立でなければいけない理由は。
- ・中期的財政計画の策定の中で財政規律、財政基準の特徴と地域戦略の展開について。
- ・「子育て一番のまち―狛江」を実現するための課題は何か、その姿は描かれているのか。

#### 【歳入】

- ・公債費の今後の推移と徴収率向上の取り組みについて。
- ・防犯カメラ設置の経過と目的、条例等基準を定める必要性和個人情報保護対策について。
- ・駅前三角地の活用への市民参加の推進について。
- ・子ども・子育て新システム移行への準備と課題は何か。
- ・平成24年度予算で力を入れた削減予算、増額予算は。
- ・実質経常収支比率の現状を市民にどう説明するのか。
- ・市長の市政運営、政治姿勢で原点になるものは何か。
- ・3つの基本条例の策定や改正の意味はどこにあるのか。

#### 【歳出】

(総務費)

- ・絵手紙発祥の地推進関係費の著作権購入の考え方について。
- ・平和都市宣言30周年記念事業は、どんな取り組みを行うのか。
- ・市民活動支援センターは、住民との話し合いがいつから着工か。
- ・電話催告システムにかかる費用と効果について。
- ・コンビニ収納実施後の徴収率を含む収支予測は。

(民生費)

- ・ユニバーサルデザイン補助で民間施設改修のときの内容とその周知方法は。
- ・障がい者移送サービス事業の目的と変更点は。
- ・あんしん見守りサービスの内容と実績は。
- ・災害時要援護者支援事業の取り組みの内容と今後のスケジュールについて。
- ・プレーパーク協働設置研究事業の今後の進め方は。



(衛生費)

- ・病後児保育の現状の問題点と今後のあり方について。
- ・貧困連鎖について、学習支援の検討と予算への反映について。

(商工費)

- ・マナーアップ推進とは何のマナーをアップさせる事業か。
- ・緑の実態調査の目的と成果について。
- ・ランチ等、各コンテンツの参加店舗数と費用対効果は。
- ・市内空き店舗情報サービス借上げの具体的な内容は。

(土木費)

- ・ニトリ狛江ショッピングセンター建設で想定される交通問題を把握しているか。
- ・道路の補修工事の優先順位の考え方について。

(消防費)

- ・MCA無線の効果と配備の予定について。
- ・地域防災計画修正等委託の委託業者の選定方法について。

(教育費)

- ・家庭と学校の連携推進での専門委員の役割分担について。
- ・低学年音楽支援講師派遣事業の経緯とどんな視点で議論をして決めたのか。
- ・移動教室の実施場所について。
- ・給食センターの基本設計の考え方と実施計画に向けた進め方は。
- ・司書教諭と図書館司書の協力体制の課題について。
- ・公共施設再編方針の中に市民ホール設備の修繕計画がない。なぜここで設備修繕を行うのか。

平成24年度  
狛江市一般会計予算に対する修正案(歳出から)  
(単位:千円)

説明	金額
市民活動支援センター関係費	504
報償費	490
市民活動支援センター開設準備委員会委員報償	
需用費	14
消耗品費	
おトイレ安心ネットワーク事業	390
需用費	390
消耗品費	(22)
印刷製本費	(368)
一般管理費(市民ホール費)	31,748
需用費	(44,074)
修繕料	30,803
	43,129
予備費	31,220
	18,000

## 平成24年度 一般会計予算 歳入・歳出予算総額 245億7800万円

